

2019年2月24日

文部科学大臣 柴山 昌彦様

文部科学副大臣 浮島 智子様

(文部科学省「外国人の受入れ・共生のための教育推進検討チーム」座長)

## 公立夜間中学及び自主夜間中学の安全対策に関する要望書

基礎教育保障学会会長 上杉 孝實 (京都大学名誉教授)

現在、公立夜間中及び自主夜間中学には年齢・国籍・言語・心身に障がいをもつ方等、多様な生徒・学習者が学んでいます。この点を踏まえ、「公立夜間中学及び自主夜間中学の安全対策に関する要望」を提出致しますので、よろしくお願い致します。

### 1、行政として、災害時等にとくに焦点をあてた「多言語での対応」「やさしい日本語での対応」「障がい者への対応」を一層充実させてください。

公立夜間中学や自主夜間中学で学ぶ生徒・学習者の中には、外国籍で日本語力が不足している人や日本人でも漢字がよくわからない人も少なくありません。また、障がいをもつ方や通学に長時間を要する方もいます。そのため、往復の通学時や自宅で災害が発生した場合は大きな困難があり、きめ細かな対策が求められます。

### 2、公立夜間中学や自主夜間中学での「避難訓練」を充実させてください。

公立夜間中学や自主夜間中学での「避難訓練」は十分実施されているとは言えません。それぞれの実情に応じた「避難訓練」が実施できるよう、行政として支援を行うことが求められています。

### 3、災害が起きた後なるべく早く「学習活動」が再開できるように配慮してください。

公立夜間中学や自主夜間中学で学ぶ生徒・学習者の中には、一人暮らしの高齢者等も多くいます。そのため、単なる学習の場としてだけでなく、「居場所」としての場を継続的に確保することにより、「安否確認」や「災害発生に伴う困難への適切な対応」が可能となります。

### 4、災害時に適切な対応ができるよう、行政及び地域社会との日常的な連携を進めてください。

災害はいつ発生するかわかりません。そのため、公立夜間中学・自主夜間中学と行政・地域社会が日常的に交流や情報交換を行っておくことが、災害時の「被害」を最小限にする上で重要となっています。

### 5、公立夜間中学や自主夜間中学の施設内に「災害時優先電話」及び「公衆電話」を確保してください。

大規模災害が発生すると、携帯電話等は多くの場合、「通話不可能」となりますが、災害時優先電話・公衆電話は、「通話可能」です。日本全国で様々な災害が発生する昨今、「安否確認」や「授業中止の連絡」等の対応が迅速にできるよう災害時優先電話・公衆電話を確保することが求められています。